

かめっ子だより No.026

令和8年5月20日
八尾市立亀井小学校
校長 柴山 八寿夫

「早く大きくなあれ！」1年生がアサガオの種をまきました

11日(月)、1年生が生活科「はなをさかせよう」の学習で、アサガオの種まきを行いました。子どもたちは、自分の植木鉢に土を入れ、指で小さな穴をあけながら、一粒ずつ大切に種を植えていました。肥料も入れ、「元気にそだってね」という思いを込めて水をやっていました。

翌日からは、登校してきて朝の用意を済ませると、早速水やりを熱心に行う姿が見られます。毎日お世話をしながら、アサガオの成長の様子を観察していくのですが、「いつ芽が出るのか」「どんな花が咲くのか」今から楽しみです。無事、花が咲くように、大切に育てていってほしいと願っています。



14日(木)、なんと、もう芽が出て、15日(金)にはきれいな双葉が…。ちょっと早すぎない？

給食の配膳も上手になってきました！！

11日(月)の給食の献立は「カレーライス」「切り干し大根のサラダ」でした。カレーライスといえば、1年生が給食を初めて食べた時のメニュー。あれから一ヶ月が経ちました。この間、1年生も着実に成長しているようで、給食当番も自分たちだけで上手にできるようになってきました。これまでは少し早めの時間から用意していましたが、今では4時間目が終了してからも大丈夫。上達しているということですね。給食もただ入れるだけでなく、たりなくならないように、同じ量で配膳していく。簡単なようでも、結構考えないといけないんですよ。

これからも自分でできることが、たくさん増えていくことに期待しています。

